

第43回 和木町古墳祭



8月3日(土)、4日(日)



江田船山古墳公園一帯

古墳祭の日程が変更になりました。

8月1日・2日



8月第1土・日の3日・4日へ
変更になります。

なぜ変更になったの？

週末に開催することで参加もしやすくなり、ゆっく
りと見て、食べて踊って、祭りを楽しむために変更い
たしました。

たくさんのご来場お待ちしております。
友人、ご家族、恋人などを誘ってみては？

Event

イベント内容

【8月3日】「前夜祭」

- 時間 午後6時30分～午後8時15分頃
- 内容 町内の各地域で受け継がれている踊りを中心とし、参加者全員が楽しめる内容です!! 終了後、お楽しみ抽選会を実施します。

【8月4日】「炎の宴」

- 時間 午後5時45分～午後8時30分頃
- 内容 古代衣装を身にまとい総勢800人による松明行列が壮大に行われます。松明片手に歩く姿は見る者を魅了すること間違いない!!

■花火大会 午後8時30分頃～

打ち上げ発数 約2,000発
※荒天の場合 8月5日(月) 午後8時頃～

【8月3日・4日両日】「フレンドパーク」

- ところ 商工会青年部ビヤガーデンステージ



祭りの主人公 火巫女とムリテ

第43回和木町古墳祭のヒロインをつとめる火巫女役に山下毬絵(やましたまりえ)さんが選ばれました。山下さんは、和木町上十町に在住。熊本市内の大学に通学されています。古墳祭を通して地域に貢献したいという山下さん。これから、祭りの宣伝部長として和木町古墳祭をPRしていきます。

また、「江田船山古墳」の主であったと推察されている地方豪族「ムリテ」役に、なごみ芸能団でガソリンスタンド経営主の木部礼(きべれいち)さん。「町の活性化のために頑張ります。」という木部さん。ムリテ役2年目ということで昨年から成長した姿に期待です。



(左)和木町長(中央)山下さん(右)木部さん

火巫女は火祭りの象徴として、古墳時代にも存在していたとされる女性呪術師として江田船山の君「ムリテ」を蘇らせる重要なヒロインです。

国宝 銀象嵌銘大刀 なんてだろう？

国指定史跡江田船山古墳から出土した
国宝「銀象嵌銘大刀」

大刀の棟(背)の部分に75の文字が、刀身には馬・鳥・魚などのデザインが銀で象嵌されています。文字は日本で最も古い日本語とされ、また記録的文章となっていて、今から1500年前のもの。ちなみに埼玉県行田市(ぎょうだし)にある埼玉稲荷山古墳(さきたまいなりやまこふん)出土の金象嵌銘鉄剣(きんぞうがんめいてつけん)と並んで有名です。

日本最古級のもつとされ、日本の古代史上で貴重なものです



大刀銘文の一部

大刀に刻まれた75文字

(文章)

治天下獲加多支鹵大王世、奉事典曹人名无利旦、八月中、用大鉄釜、并四尺廷刀、八十練、九十振、三寸上好刊刀、服此刀者、長寿、子孫洋々、得□恩也、不失其所統、作刀者名伊太利、書者張安也

(解説)

ワカタケル大王(雄略天皇)の時代にムリテが典曹という文書を司る役所に仕えていた。八月に大鉄釜で丹念に作られた立派な大刀である。この刀を持つ者は、長寿であって、子孫まで栄えて治めることがうまくいく。大刀を作ったのは伊太和で、銘文を書いたのが張安である。つまり健康長寿、子孫繁栄の願いです。

盆踊りに参加しませんか？

前夜祭では、きくすい音頭を始め、三加和音頭、八つの神様音頭が披露されます。どなたでも飛び入り参加可能な踊りですので、ぜひ、参加してみてくださいね。

参加者スタッフ募集中!!
今回の古墳祭は、和木町民の力が結集したものです。出演者は約1,000人となり、祭りに参加した人すべてが主役です。

古墳祭が皆さんから親しまれ、和木町の誇りとなるよう一緒に盛り上げ、楽しめましょう。

松明行列、時間(とき)のともしびなどで活動していただける人は、左記までご連絡ください。

問い合わせ先
古墳祭実行委員会事務局
(本庁経済課内)
☎0968・86・5725